

みさと 市議会だより



No. 196

2024年1月15日号

年4回発行

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の意思決定機関



主な内容

令和5年12月定例会

- 論点1 三郷中央におどりプラザから市全体に賑わいと交流を広げます! 2
- 論点2 常磐自動車道スマートIC「フルインター化」の開通へ 3
- 市政に対する一般質問 4
- 12月定例会提出議案とその結果 9
- 国・政府に要望 10
- 読者の声 12

龍に願いを…
(彦倉虚空蔵尊)

論点
1

12月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案がどのように審査されたか、その要旨をお知らせします。

三郷中央におどりプラザから 市全体に賑わいと交流を広げます！



12月定例会
11/27~12/8

■12月定例会には、市長から18議案が提出され、
原案通り可決しました。

議案第78号 指定管理者の指
定について

〈内容〉令和6年4月から5年間にわたり、三郷中央におどりプラザを管理運営する指定管理者を、引き続き大和リースグループに指定するものです。

▽本会議や委員会では、次のような質疑がありました。

問 現在の指定管理者の管理運営についての評価は。

答 指定管理業務の基本方針、実施体制、利用管理、自主的事業収支計画の5項目の視点で審査を行い、それぞれの項目において適切な管理を行うことができると評価した。

問 これまでの指定管理者と市の修繕実績は。

答 指定管理者が行った修繕は、券売機の故障修繕と会議室椅子の一部のカバー交換であり、市が行った修繕は、2階の吹抜け手すり面の壁の改修修繕と、建物入口付近の館銘板の更新修繕である。

問 今後のにおどりプラザの将来展望について、プレゼンテーションの内容は。

答 事業者からは、市民との協

働による運営を継続することにより、地域の担い手を増やし、個人・団体・企業・施設等と協力しながら、駅前広場やおどり公園なども活用し、三郷中央地区だけでなく、市全体に賑わいと交流を広げていくと提案があった。

問 大和リースグループを構成する大和リース株式会社とパートナーズ・ワン株式会社のそれぞれの役割と市との関係は。

答 大和リース株式会社は、プロジェクト・マネジメント及び飲食エリアの統括責任者として業務確認や指示を行い、パートナーズ・ワン株式会社は、施設の利用管理や自主的事業の運営を行う。

市は、両社に指示及び調整をし、必要に応じ両社から報告を受ける。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、採決の結果、全議員賛成で可決しました。



指定管理者制度とは

多様化する市民ニーズに、より効果的・効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用して、住民サービスの向上を図るための制度です。指定にあたっては、期間を定め、議会の議決が必要です。



論点
2

常磐自動車道スマートIC「フルインター化」の开通へ

議案第89号 令和5年度三郷市一般会計補正予算(第4号)

〈主な内容〉三郷料金所スマートインターチェンジのフルインター化に向けた工事の予算を1億2,500万円増額する「地域拠点基盤整備(フルインター化事業)」など。

▽本会議や委員会では、次のような質疑がありました。

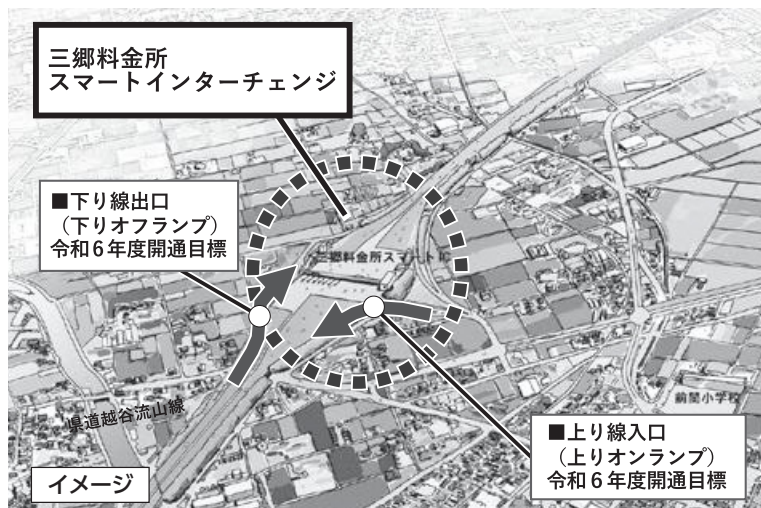
問 道路整備工事費を増額する理由は。

答 本市と連携して工事を進めている東日本高速道路(株)との工程調整において、令和6年度予定工事を前倒しして実施することにより、来年度予算により発注した場合の工事空白期間を埋め、早期の完成を目指すため。

問 工事の完了は、いつ頃を予定しているか。

答 令和6年12月を目標としている。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、採決の結果、全議員賛成で可決しました。



フルインター化とは
常磐自動車道三郷料金所スマートインターチェンジは、現在、水戸方面への入口、及び水戸方面からの出口が利用できますが、フルインター化により、東京方面への入口、及び東京方面からの出口の利用が可能となります。



新春のご挨拶を申し上げます



三郷市議会 議長
鈴木 深太郎



はじめに、令和6年元日に発生しました能登半島地震により、多くの方が犠牲になりました。謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年は数年ぶりの開催となる行事も多く、皆様と直接触れ合える機会が増えたことを、大変嬉しく思っております。また、三郷流山橋有料道路の完成を迎え、その喜びを分かち合えたことは記憶に新しいところでございます。二代表制の一翼を担う市議会が役割と機能を十分に発揮し、三郷市がさらなる飛躍を遂げられるようその責務を果たしてまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様におかれましては、本年が幸多き年になりますよう心から祈念申し上げ、新春の挨拶とさせていただきます。



市政に対する

一般質問

— 質問議員 —

西村寿美枝	佐藤 智仁	佐々木 修	一色 雄生
深川 智加	柳瀬 勝彦	宇治由紀子	齊藤 幹郎
寺沢 美紗	工藤智加子	鳴海 和美	渡邊 雅人
加藤 英泉	菊名 裕		

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、3日間にわたり14人の議員が活発な論戦を展開しました。

※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

インクルーシブな

保育を目指して



子ども発達支援センター内

議員

発達障がいがある子どもが、社会生活の中で困難さが起こりにくくなるよう、早期から適切な児童発達支援の環境を、市として整えていく必要がある。しかし、民間の預かり型の施設や、3歳から5歳までの無償化などの情報が少ない。また通所受給者証は、障がい福祉課で交付しているが、子ども発達支援センターで行うべきではないか。障がいのあるなしに関わらず、インクルーシブな保育を目指すことについて伺う。

子ども未来部長

本市には、発達に遅れがある児童や障がい児及び家族への支援などを行う「児童発達支援センター」として、「子ども発達支援センター」と「しほのみ学園」が

ある。子ども発達支援センターでは、心理士や作業療法士などが面談や検査を行い、それぞれの児童に応じた児童発達支援事業所を案内し、年齢による無償化、各種手続きについても説明している。

受給者証の交付も含めて、来春創設される「子ども家庭センター」でワンストップの支援を行う等、障がい児を含めた全ての子どもに対して、他市の事例を調査研究していく。

その他の質問

外国人支援など。

原動機付自転車免許について

議員

排気ガス規制の問題から50ccの生産が行われなくなる。これは、電動バイクの普及によるものであり、これに伴い2023年9月に警察庁は125cc以下のバイク

に対してルールの検討に入ったと発表。原動機付自転車は、細かく分類すると原付2種と2区分になっているが、同様に排気量が小さく車輪が3つ以上ある場合には、小型特殊自動車免許が必要であり、自動車の分類となる。しかし、大型自動2



輪及び自動2輪免許取得者に限り、警察庁は、3輪のバイクに限り平成21年9月に道路交通施行規則を改正している。道路交通法は、誰にでも等しくあるべきものであり、2輪車と自動車の分類は区分されるべきであると考えるが、今回の原動付免許も実態にあったルール改正がなされていくのか。

市民生活部長

現在警察庁では、排気量125cc以下の最高出力を抑えた車両を、原動機付自転車免許で乗れるように検討を進めていると聞いている。市としては、今後の警察庁等の動向を注視するとともに、法令が改正される際には関係機関と連携し、新たな交通ルールの周知に努めていく。

その他の質問

戸籍問題など。

市内でも多発する

車の盗難等について

議員

市内での車の盗難が多発している。①現状と対策は。②夜間パトロールを執行時間であろう午前1時から午前3時の深夜帯を含めて実施する事は効果的だと考えるが市の見解は。

市民生活部長

①被害の現状としては、今年9月末頃から自動車盗難が多発しており、レクサス、アルファード、ランドクルーザーなどの高級車が狙われる傾向にある。その犯行は、「リレーアタック」や「CANインベーター」と呼ばれる手口の可能性がある。市の対策としては、ホームページでの掲載やメールでの注意喚起、青色防犯パトロール車での広報活動などを行っている。



また、吉川警察署から情報提供があった際には、市内巡回パトロールとあわせ、夜間防犯パトロールにも対応している。今後も引き続き、吉川警察署や町会等と連携を図りながら効果的な注意喚起を実施していく。②執行時間が、午前1時から午前3時までの深夜帯に発生していると推測されることから、夜間防犯パトロールの時間を変更する事は大きな抑止力になると見込まれるため、今後のパトロールの方法や効果的な運用について調査研究していく。

その他の質問

事業者支援。

閉店が続く

三郷市の経済対策

議員

昨今本市では、様々なお店が閉店に追い込まれている状況が続いている。また、三郷市は『日本の読書のまち』として全国から視察研修に来てもらえる自治体だが、駅前にあった本屋も閉店してしまった。市内法人の廃業件数は令和4年度に197件あったとのことだが、近隣においては本と読書や子育てをテーマとした政策で、経済効果を図っている。そこで「本市の今後の

経済対策について」見解を伺う。

市長

開業から50年を迎えた三郷駅における駅南口環境の改善や、三郷中央駅周辺のにぎわい創出に向けた駅前広場の改修を検討するなど、駅前のさらなる活性化を図っていく。さらに、三郷流山橋有料道路の開通により、交通便利性の向上、企業進出、雇用創出、地域活性化が期待でき、整備効果が最大限に発揮できるように、全庁をあげてまちづくりを進めていく。

地域振興部長

補助金や経営支援、経営相談など、商工会をはじめとした関係団体等と連携し、市内事業者の持続可能な経営ができるように支援を継続していく。

生涯学習部長

出版社や出版取次店などと連携をしながら、市民が本と出会う場の創出と民間企業と連携した各種事業の実施を推進していく。

その他の質問

文化の醸成など。

高齢者移動支援事業の再実施を

再実施を

議員

本市は2021、2022年度にコロナ禍の長期化により、外出機会が減少する高齢者に対し、タ

クシー券の交付をおこなった。病院に行くのに助かったなど市民に歓迎されたが、一時的な事業だった。高齢になると経済的負担があり、タクシーやバスなどが、なかなか利用できない。東京都から本市に転入してきた高齢者はこれまでシルバーパスがあり、バス代が安かったが、今はちよっと出かけるだけでも躊躇するという。高齢者外出支援としてコロナ禍で実施した高齢者移動支援事業をタクシーに加えバスや燃料にも適用拡充し再実施するよう求める。

いきいき健康部長

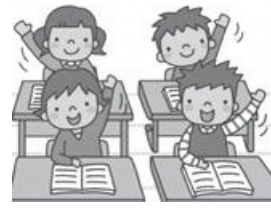
コロナがら類に移行し外出の機会はコロナ禍の当時に比べ増えているものと認識していることから、同様な事業の実施は難しいと考える。多様な生活支援のニーズに対し、介護予防、生活支援サービスの充実によってさらなる外出の機会創出を図っていくよう、地域の支え合いの体制づくりに関して関係部署と連携していく。

その他の質問

子育て支援など。



生成AIと 子どもの学習について



議員 AI教材は「正解のある問題」の学びに、生成AIは「正解のない問題」に役立てられる。日本の教育現場では、従来のような「記憶」「理解」「応用」の領域だけではなく、「正解のない問い」に立ち向かうといった、「分析」「評価」「創造」の学びが模索されている。教育現場のICT活用など便利なものを活用することは社会の発展のために重要で、上手に使える人をたくさん育てていくことが大事である。これからの時代に必要となる資質や能力をどう考え、教育の在り方をどのように見直すべきか、考える時期に来ていると思う。今後の生成AIと子どもの学習についての見解を伺う。

学校教育部長 令和5年7月に文部科学省で策定された「初等中等教

育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」を、市内小・中学校に周知し、指導している。今後も調査研究を進め、AI時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力の育成を図っていきたいと考えている。

その他の質問 まちづくり問題について。

新型コロナウイルスにおける DNA混入問題等について

議員 新型コロナウイルスや子宮頸がんワクチンは「遺伝子生物製剤」と称すべき劇薬である。これに昨今、DNAの混入が発覚し世界で大問題となっている。また、新開発の「レプリコンワクチン」が世界に先駆けて承認され、日本で先駆的に接種が始まる予定だ。これまでと同様に長期の安全性は未知である。海外ではコロナワクチンの被害の多さが明白となり、今なお接種を続けているのは日本くらいであり、11月時点で予防接種健康被害救済制度の認定が5,357件、そのうち死亡例が377件と過去最大の被害となり記録を更新中である。実施時には適切で公正なリスクの説明が

責務と考える。市の対応について伺う。

いきいき健康部長 国の審議会では、新型コロナウイルスの安全性の評価を定期的に行っており、現時点では接種体制に影響を与える重大な懸念は認められないとされている。DNAの混入に関し、現時点で国からの情報提供は無く、国から通達等が示された際は速やかに市民に周知をする。今回、国が承認したレプリコンワクチンは、従来株に対応するものである。現在は変異株に対応したワクチンを使用しており、現時点ではレプリコンワクチンを使用する予定は無い。

その他の質問 教育問題。

シルバー元気塾について

議員 二郷市は現在4人に1人以上が65歳以上の高齢者で、年々増加している。転倒・骨折を予防し健康寿命を延ばすためには、下半身の筋力トレーニングが重要である。そこで高齢者の健康維持を目的に筋力トレーニングを行い、25年目を迎えたシルバー元気塾の現状、効果および課題を伺う。



シルバー元気塾のようす

いきいき健康部長 参加人数・開催数等をコロナ禍前に戻した今年度の登録者数は1,295人で、コロナ禍前の6割程度である。効果として、埼玉県立大学に委託した医療費分析では、元気塾参加者の医療費は、参加していない同年代の方に比べおおむね低い結果だった。今後、医療費や疾病、要介護状況の比較研究について連携していく。また、元気塾の参加者を増やす工夫や効果を周知するとともに、手軽にトレーニングできるメニューも検討している。事業の効果を高めるため、講座を運営する新たなサポーターを養成することも重要な課題と考えている。

江戸川サイクリングロードの安全対策について

議員

江戸川サイクリングロードには、休憩スポット「みさと」の風ひらば「があり、印象的なオブジェや整備されたサイクルラックもあることから、サイクリストやランナーをはじめ多くの方々に知られる市内名所のひとつとなっている。朝夕の散歩やペットとの散歩等を日課にされている市民も大勢いる中で、自転車の速度やマナーに対する苦情や事故が多発している。サイクリングロードは自転車歩行者専用道路であるため、歩行者の通行が優先されるが、①現在のサイクリングロードに関するルールについて②サイクリングロードに関する相談・現況等について③サイクリスト・市民それぞれに対してルールの周知について伺う。



より安心して魅力的なサイクリングロードへ

まちづくり推進部長

①「埼玉県

自転車の安全な利用の促進に関する条例」の中で、自転車利用者の責務として、自転車の安全な利用に努めることをルールとしている。②近年サイクリングを楽しむかたが増えている中、重大な事故につながりかねないサイクリストの行為も散見され、県内においてもサイクリングロードでのマナー等に対する苦情が寄せられていると伺っている。③市の取組としては吉川警察署等と合同で自転車の安全利用を呼び掛けるキャンペーンを行っていたが、さらなる周知啓発の必要性を認識している。今後関係機関や庁内関係部署との連携のもと、交通ルールの周知による利用環境の向上に努めていく。

困難を抱える女性への

相談体制の強化を

議員

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」いわゆる女性支援法が2022年に成立し、2023年3月に厚生労働省から基本方針が示された。埼玉県の基本方針に基づいた基本計画案は、「市町村は困難を抱える女性にとって最

も身近な相談窓口となるとともに、福祉制度や支援の実施主体となる」としており、さらに「アウトリーチなどによる早期把握が求められ、「相談となる入口の段階では可能な限り幅広い方を対象とする」としている。女性に対する性暴力や性搾取・貧困やDVなど複合的に困難に陥る実態は顕著に現れている。したがって、相談などに対応する職員の専門性や高度なコミュニケーション技術が求められる。本市としては、非正規職員だけでなく正規の職員を配置し体制の強化を図るべきである。

総務部長

相談にあたっては、様々な機関との連携や専門性の向上が求められるため、厚生労働省や埼玉県が主催する相談員向け各種研修会に参加し、専門的知識の習得やマナージメント、コミュニケーション力などを高め、様々な相談に対応していく。

その他の質問

認知症対策についてなど。

奨学金返還の支援を実施し

若者へエールを!!

議員

奨学金は経済的な理由で学

ぶことをあきらめないための大事な制度だが、返済が負担になっている場合がある。市内に居住し市内の企業に勤めるなど一定の条件をもとに、返還の一部を肩代わりする制度がある。本市でこの制度を活用することは、三郷市が育てた若者が市内で就職してもらい、青少年に対して将来に対する大きなエールを送ることとなる。「奨学金返還支援事業」の実施について伺う。

学校教育部長

奨学金を活用して大学等を卒業した若者が、就職後も長期にわたる返済を抱えることにより、生活への負担が続き、将来設計に影響を及ぼす可能性がある。これは、未婚化や晩婚化、少子化等に繋がる社会問題であると捉えている。奨学金返還支援事業の導入は、将来に不安を抱える若者世代への支援として、また、若者の定住・定職の促進策のひとつとなることから、関係部署と連携を図り、他自治体の取組等を調査研究していく。

その他の質問

防災問題など。



視覚障がい者、弱視者への支援について



誘導用ブロックの更なる整備を

議員 視覚障がい者、弱視者の方に対して行政が支援すべき点は多岐にわたる。視覚障がい者誘導用ブロックの更なる整備や市役所をはじめとした公共施設におけるバリアフリー化が不十分な点の整備といった、移動時に不便、不自由を感じている部分の解消を進めていただきたい。また、大規模災害時に避難所で過ごすにあたっては、トイレ等への導線確保や食料の配給等に関する情報発信の方法などへの配慮が必要となる。「避難所開設・運営マニュアル」や「三郷市地域防災計画」等へそうした点も考慮したより具

体的な対応方法を記載する等、支援体制の整備を進めることが必要である。

建設部長 道路における視覚障がい者誘導用ブロックについて、計画的に整備を推進していく。

財務部長 公共施設内におけるバリアフリー対策について、整備に努めていく。

危機管理監 職員やボランティアの派遣を含めた支援体制、マニュアルの整備、福祉避難所の整備といった対策に努めていく。

その他の質問 公衆衛生。

みさと市幼児教室「風の子園」継続について

議員 「ふるさと三郷 みんながほえむまちづくり」実現のための令和6年度予算編成の諸政策の中で、「質の高い教育と子育て支援の強化（子どもたちの成長を見守る・夢を育む）」を重点的に実施していくと前年度同様謳っているが、「風の子園」を令和7年度で閉園させるというが、継続すべきである。前年度の保育所運営には総額40数億円、子ども一人当たり約200万円が投入されているが、風の子園について

は補助金総額が1,500万円で、子ども一人当たり30万円。この差は何なのか。風の子園のインクルーシブな教育・保育は市内の他の保育等の施設より三郷が誇れる幼児教育・保育施設でもある。流山市に追いつき追い越せ。これが三郷市の人口減少を食い止める処方箋であるので、改めて、風の子園の継続を要望する。

市長 令和6年度予算編成では、認可保育施設の新設等により待機児童の解消につとめるとともに、子ども家庭センターの設置により、きめ細やかな子育て施策の充実をはかる予定である。幼児教室「風の子園」は昭和50年代の人口急増期に幼稚園待機児童の解消を目的に開設された施設であり、現在は幼稚園不足や待機児童の課題も解消されていることから、施設の建て替えや大規模修繕等を行うことは困難と考

その他の質問 住宅問題。

三郷市職員の離職率について

議員 三郷市役所の有効求人倍率の先細りや職員の離職率上昇は、深刻な問題である。コロナ禍で人手不

足は一時的に緩和したように見えただが、その後の経済の回復とともに人手不足は右肩上がりになり、民間だけに限らず、行政にとっても非常に深刻な状態である。当市でも、市長をはじめ、執行部の皆様は三郷の離職率の実数や、所属部署などの情報はすでに承知であり事の重大さも認識されているはずである。市役所職員の離職率・有効求人倍率の低下に対する見解を市長に問う。

市長 本市職員の離職率は近隣自治体と比較すると低いものの、職員の離職は組織力の維持に少なからず影響があると考えている。私は日頃より、若手職員の意見をできるだけ施策に反映することや、発言しやすい職場環境の醸成により若手職員が高い意欲を持って働けるよう努めている。有効求人倍率の低下については、大学卒業の一般事務職の募集では、今年度は昨年度と比べ1.7ポイント上昇している。現在、優秀な人材の確保競争が激しくなっていることから、採用募集において、応募者のニーズに応じた市の魅力の発信を行うとともに、新規採用職員がやりがいを持って働ける職場づくりに努める。

その他の質問 施策の運用。

12月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○=賛成 ×=反対

号	件名	結果	新政会	21世紀クラブ	公明党	日本共産党	ネットワークみらい	政志会
75	交通事故に係る損害賠償額の決定及び和解について	可決	○	○	○	○	○	○
76	三郷市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○
77	三郷市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○
78	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○
79	三郷市行政組織条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
80	三郷市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
81	職員の給与に関する条例、一般職の任期付職員の採用等に関する条例及び三郷市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
82	市長及び副市長の給与等に関する条例及び三郷市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
83	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
84	三郷市会計年度任用職員の報酬等に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
85	三郷市手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
86	三郷市市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
87	三郷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
88	三郷市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
89	令和5年度三郷市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○
90	令和5年度三郷市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○
91	令和5年度三郷市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○
92	令和5年度三郷市一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○
93	医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
94	認知症との共生社会の実現を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
請願 3	国に対し「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願書	不採択	×	×	×	○	×	×

※議長は採決に加わっていません。
 ※このほか陳情3件がありました。

会派名（人数）	所属議員名
新政会 (8)	武居 弘治、篠田 正巳、佐々木 修、 田上 広子、宇治 由紀子、篠田 隆彦、 齊藤 幹郎、寺沢 美紗
21世紀クラブ (6)	菊名 裕、岡庭 明、加藤 英泉、 柳瀬 勝彦、渡邊 雅人、一色 雄生
公明党 (5)	鈴木 深太郎（議長）、酒巻 宗一、 佐藤 睦郎、鳴海 和美、西村 寿美枝
日本共産党 (3)	工藤 智加子、佐藤 智仁、深川 智加
ネットワークみらい (1)	市川 文雄
政志会 (1)	佐藤 裕之

請願

市民要望としての請願が12月定例会に1件提出されました。結果をお知らせします。

請願第3号

国に対し「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願書

請願者

三郷社会保障推進協議会
 会長 水脇 照人 氏

審議結果 不採択

国・政府に要望

12月定例会では2件の意見書を提出しました。

議案第93号 医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書

(要望事項)

1. 医療・介護・障害福祉分野の賃上げについて、経済対策での処遇改善支援事業を早期に実行すること。その上で、2024年度の同時改定においては物価高騰・賃金上昇等を踏まえ処遇改善等を行うこと。

2. 新型コロナウイルス感染症による緊急時のサービス提供に必要な介護人材確保のため、手当の支給など、地域医療介護総合確保基金における「新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業」の活用を推進すること。

3. 介護や障害福祉を支える職員は、専門職として位置づけられており、高齢化社会を支える必要不可欠な人材であることから、公営住宅の空き家の「地域対応活用」を促進すること。

議案第94号 認知症との共生社会の実現を求める意見書

(要望事項)

1. 認知症基本法の円滑な施行に総力を

本年6月に成立した「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の施行に向け、立法の趣旨を踏まえ、円滑な施行に向け、施行後に設置する「認知症施策推進本部」をはじめとする準備に万全を期すこと。特に、認知症の本人が、自身が認知症であることを隠すことなく、明らかに日常を続ける準備に万全を期すこと。特に、認知症の本人が、自身が認知症であることを隠すことなく、明らかに日常を続ける準備に万全を期すこと。

2. 地方自治体への支援の強化
地方自治体における都道府県認知症施策推進計画・市町村認知症施策推進計画の策定において、今までの延長ではなく、共生社会の実現に向けた統合的かつ連続的な計画の策定を可能にする専門人材の派遣など、適切な支援を行うこと。また、各自治体が主体的に実効性の高い施策を自在に展開するために、自由度の高い事業展開と予算措置のあり方を検討すること。

3. 地方自治体の組織体制の強化
地域住民に対する法の理念等の普及啓発、安心・安全な地域づくりの推進等、共生社会の実現を推進する取り組みを、部門間の縦割りをなくして総

「意見書」とは…

公益にかかわることについて、議会が意思決定機関として意見をまとめ、議決し、国等の関係機関へ「意見書」として要望などを行うことです。



6. 身寄りのない方にも柔軟に寄り添い支える社会の構築
身寄りのない方を含め、認知症になったとしても、その状態に応じた、安全に安心して生活が出来る社会環境の構築に向け、一人一人の意思を最大限に尊重し総体的かつ柔軟に寄り添い支える、成年後見制度や身元保証等のあり方について現状の課題を整理し検討を進めること。また、住まいに課題を抱える方々に対する総合的な相談対応、一貫した支援を行う実施体制を整備すること。

4. 認知症の人の働きたいというニーズを叶える労働環境の整備
認知症の人の働きたいというニーズを叶える環境整備も重要である。若年性認知症の人、その他の認知症の方々の就労や社会参画を支える体制整備を進めるとともに、働きたい認知症の人の相談体制を充実し、認知症と診断されても、本人の状態に応じて、社会の一員として安心して生活できる事業者も含めた社会環境を整備すること。

7. 認知症に関する基本事項を繰り返し国民が学べる環境の整備
すべての国民が正しく認知症に向き合う社会環境を整えるために、認知症発症予防から人生の最終段階まで、認知症の容態に応じ、相談先や、いつ、どこで、どのような医療・介護サービス・地域支援を受けることが出来るのか(認知症ケアパス)、更に認知症の人を支える周囲の人における意思決定支援の基本的考え方や姿勢、方法、驚かせない！急がせない！自尊心を傷つけない！など配慮すべき事柄等認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドラインを、繰り返し国民が学べる環境を整備すること。

5. 認知症の方を抱える「ご家族」への支援体制の拡充
独居や高齢者のみ世帯が急増する中で、一つの事業所で相談から訪問介護、通所、ショートステイまで、一人一

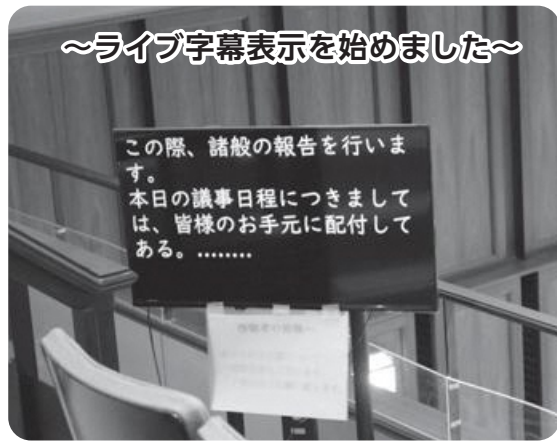
人の変化に応じて継続的に対応できるオール・イン・ワンの介護保険サービスを24時間365日提供する小規模多機能型居宅介護サービス事業について、見守り体制の整備も含めて拡充すること。

議事を傍聴しませんか

議会傍聴は議会活動に触れることができる最も身近な方法です。市政への理解を深めていただくためにも傍聴をしてみませんか。

※傍聴の際に手話通訳を希望されるかたは、傍聴希望日のおおむね14日前までに議会事務局までお申し込みください。

問い合わせ 議会事務局 ☎ 048(930)7768
FAX048(953)1358



～ライブ字幕表示を始めました～
傍聴席に、発言内容をリアルタイムで表示する字幕モニターを設置しています。よりわかりやすい議会を目指します！

次回の3月定例会は2月26日(月)午前10時に開会予定です。

議会あれこれ

【他市からの行政視察がありました】

- 「親の学習推進事業」について…11月1日に宮城県東松島市議会民生教育常任委員会。
- 「子育て支援ステーション事業」について…11月8日に福岡県春日市議会こども文教委員会。
- 「インクルーシブ公園」について…11月15日に広島県大竹市議会生活環境委員会。
- 「三郷スマートインターチェンジ事業」について…11月16日に愛知県一宮市議会名岐道路・スマートインターチェンジ推進特別委員会。
- 「インクルーシブ公園整備事業」について…11月22日に佐賀県唐津市議会 公明党。

【議員研修会を開催しました】

11月20日に、議員22名でさいたま市の造幣局さいたま支局の視察を行いました。

【議会運営委員会について】

- 11月20日、佐藤裕之議員から議会運営委員会委員の辞職願が提出され、議長がこれを許可しました。
- 12月8日、篠田隆彦議員が新たに議会運営委員会委員に選任されました。

令和6年3月定例会の予定表

月日	曜日	会議別
2/26	月	本会議 (議案説明・ 質疑など)
2/27	火	
3/1	金	
3/4	月	
3/5	火	委員会
3/6	水	
3/12	火	本会議 (議案採決・ 一般質問など)
3/13	水	
3/14	木	
3/15	金	

※正式には市長の招集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で決定します。

【議会の詳細は「会議録」で】

三郷市議会ホームページまたは、市役所内の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお、12月定例会の会議録は2月下旬に更新する予定です。

▶会議録速報版を公開…閉会から1か月を目安に、ホームページにてPDF形式で公開していますのでご覧ください。

URL <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/misato/SpTop.html>

三郷市議会 会議録

検索

わたしも ひとこと



ウサギの郷をいつまでも

公務員 60代 番匠免在住

三郷はウサギの郷だと思います。ウサギは兎ではなく、鶺鴒です。水の中に潜って魚をとらえる鶺、田や水路で小魚を探す鶺、どちらも都会では見られない大型の鳥類です。こんな鳥たちが舞う三郷は、鳥たちが生息しやすい環境だと思います。しかし、こうした環境が失われつつあります。田畑がなくなり、宅地化が進み、倉庫や資材置き場ばかりが目立つようになってきました。開発が進み、活気あふれる街になることはいいと思います。しかし、鳥たちが舞い踊る環境を残していくことは、三郷の未来を担う子どもたちのためにも必要なことではないでしょうか。

切に願うこと

パート 60代 彦成3丁目在住

みさと団地に住んで40数年。息子が小学生の頃から、ずっとママさんバレーボールを続けて33年になります。コロナ禍でやめてしまう方が増え、新しく始める方は少なく、三郷市のママさんバレーのチーム数は減るばかり。パリオリンピックに男子バレーは早々に出場権を獲得。もちろん女子バレーも最終予選で決めてくれるでしょう。2032年のオリンピックまで開催地が決まっていますが、その時に参加出来る競技人口がいるのでしょうか。少子化が進めば、スポーツする人口も自然と減るでしょう。三郷市には、子どもを安心して産み育てやすい市政であってほしい。そして、老若男女問わずスポーツの楽しさを伝えられる三郷であってほしいと願っています。



本年もよろしくお願ひいたします

議長
副議長
議員

岡 菊 武 酒 佐 佐 市 加 柳 佐 田 西 鳴 工 佐 深 渡 一 宇 篠 齊 寺 篠 鈴
庭 名 居 卷 藤 藤 川 藤 瀬 木 上 村 海 藤 藤 川 邊 色 治 田 藤 沢 田 木

(議席順)

弘 宗 睦 裕 文 英 勝 広 寿 和 智 智 智 雅 雄 由 隆 幹 美 正 深
明 裕 治 一 郎 之 雄 泉 彦 修 子 枝 美 子 仁 加 人 生 子 彦 郎 紗 巳 郎

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候の挨拶状などは禁止されております。市民の皆様に対して、本紙上をもって年頭のご挨拶とさせていただきます。

